

神奈川労働局（局長 児屋野 文男）は、第 98 回全国安全週間（7 月 1 日～7 日）に向けて、準備期間中（6 月）の取組として、急増している死亡労働災害を防止するため労働災害防止団体に緊急要請を行い、労働局長による建設工事現場のパトロールを実施いたしました。

～ 令和 7 年度全国安全週間スローガン～

「多様な仲間と 築く安全 未来の職場」

1 急増している死亡労働災害を防止するための緊急要請

令和 7 年の神奈川県内における死亡労働災害は、3 月以降急激に増加し、5 月末までに前年同期の 9 人を大きく上回る 17 人となり、極めて深刻な状況となっています。

このため、以下の 5 つの労働災害防止団体に対して、各団体が実施する事項として会員の安全衛生管理の必要性の説明や安全衛生意識の高揚を図る措置を講じること、会員に周知・啓発する事項として「令和 7 年度全国安全週間実施要綱」の各事業場が実施する事項の内容を中心に働きかけをするよう要請を行いました。



建設業労働災害防止協会 神奈川支部
神奈川労働局長から要請



(公社)神奈川労安全衛生協会
労働基準部長から要請



陸上貨物運送事業労働災害防止協会
神奈川県支部



港湾貨物運送事業労働災害防止協会
神奈川県支部



林業・木材製造業労働災害防止協会
神奈川県支部
安全課長から要請

2 建設工事現場のパトロール

6月24日、全国安全週間準備期間の一環として(株)熊谷組 首都圏支店（仮称）北仲通北地区B-1地区計画新築工事の現場を横浜南署・建災防神奈川支部と合同でパトロールを実施し、墜落・転落災害防止、重機接触災害防止や熱中症対策の取組の確認を行いました。



本工事は、敷地面積1万2345平方メートル、建物はR C造地下1階地上40階建ての住宅棟、S造地下1階地上6階建ての事務所棟、S造地上3階建ての店舗棟の3棟で、延床面積10万9406平方メートルの施設を建設する。工期は令和5年11月22日から令和10年3月21日までで、進捗率は10%。



工事概要、安全衛生対策などの説明を受けた後、現場内を視察し、熱中症対策としてWBGT測定値を安全掲示板に表示、作業時にも確認できるようスマートフォンアプリを活用等、熱中症警戒情報の共有・見える化、製氷機・冷水器・自販機の増設設置、熱中飴・スポーツドリンク・麦茶の提供、クーリングスペース（ペンギンルーム）の設置を行っているほか、快適さに配慮したシャワールーム・洗濯機・ヘルメット洗浄機の設置などを確認しました。



↑ WBGT測定値の掲示がある安全掲示板



↑ ヘルメット洗浄機・洗濯機



↑ クーリングスペース（ペンギンルーム）



↑ ペンギンルーム（担架を配置している）



↑ シャワールーム、冷水器、製氷機の設置状況



↑ 大型送風機で作業構台の下の風の流れに工夫



パトロール後の児屋野局長の講評では、「整理整頓の行き届いた模範となる良い現場だ。地下に降りていく通路は安全に通るために遠回りをしていると聞いた。ぜひその考えを継続してほしい。熱中症対策のペンギンルームなどは良い取組で中小の現場にも広がるよう模範となってほしい。当局は、熱中症の死亡災害ゼロを目標にしているが0と1とは全然違う。今年はなんとか成し遂げたい。」と協力を求めました。